

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月10日

【四半期会計期間】 第15期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）

【会社名】 株式会社ファステップス

【英訳名】 Fasteps Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 川嶋 誠

【本店の所在の場所】 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

【電話番号】 03（5360）8998（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 村山 雅経

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区四谷四丁目32番4号

【電話番号】 03（5360）8998（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 村山 雅経

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第14期 第2四半期連結 累計期間 | 第15期 第2四半期連結 累計期間 | 第14期 |
|--------------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日 | 自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日 | 自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日 |
| 売上高 | (千円) | 2,920,493 | 2,919,715 | 5,501,407 |
| 経常利益 | (千円) | 58,654 | 11,197 | 153,192 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 24,215 | 29,305 | 77,332 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 39,594 | 28,058 | 134,451 |
| 純資産額 | (千円) | 1,569,991 | 1,690,652 | 1,664,848 |
| 総資産額 | (千円) | 3,597,322 | 3,638,085 | 3,208,666 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 8.51 | 10.30 | 27.19 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 | (%) | 28.6 | 30.7 | 33.9 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 396,811 | 93,246 | 388,480 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 84,584 | 8,366 | 186,641 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 40,500 | 180,000 | 257,305 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 73,095 | 740,932 | 662,580 |

| 回次 | | 第14期 第2四半期連結 会計期間 | 第15期 第2四半期連結 会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日 | 自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 9.63 | 8.49 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第1四半期連結累計期間において1株につき100株の株式分割を行ないましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク及び前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州諸国での財政問題の長期化や新興国経済の景気減速などの要因から依然先行き不透明な状態ではあるものの、アベノミクス効果による株高の影響もあり景気回復に対する期待感が表れ始めています。

このような状況のもと、当社グループは既存案件の拡大を行っており、新規案件に対しても幅広い商材から顧客に対してのアプローチを進め、受注に繋がるべく調整をしております。この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高2,919百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益0百万円（前年同期比99.6%減）、経常利益11百万円（前年同期比80.9%減）となりました。ただし、法人税等の影響により、最終損益として29百万円の四半期純利益（前年同期比21.0%増）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。

（システムソリューション事業）

当事業におきましては、スマートフォンアプリケーションのタイトル数が増加したことにより、売上高も増加しております。また、受託案件の売上高もほぼ計画通りに推移しております。その結果、売上高は244百万円（前年同期比17.1%増）、売上構成比は8.3%となりました。

（メディアソリューション事業）

当事業におきましては、前連結会計年度でのスポットコマーシャルの大幅な増加が影響し、売上高は減少しておりますが、当第2四半期連結会計期間では新規クライアントの獲得や、既存クライアントの売上拡大により、売上高は計画よりも増加しております。その結果、売上高は2,130百万円（前年同期比14.4%減）、売上構成比は73.0%となりました。

（コストマネジメント事業）

当事業におきましては、インターネット通販市場の成長により、貨物輸送量が増加したことにより売上高も計画通りに推移いたしました。その結果、売上高は544百万円（前年同期比142.9%増）、売上構成比は18.7%となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて466百万円増加し、2,822百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が346百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、815百万円となりました。これは、主に投資その他の資産が32百万円減少したことなどによります。総資産は、前連結会計年度末に比べて429百万円増加し、3,638百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて351百万円増加し、1,541百万円となりました。これは、主に買掛金が234百万円増加したことや短期借入金が130百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、406百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し、1,690百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて78百万円増加し、740百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は93百万円(前年同期は396百万円の減少)となりました。これは主に売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、減少した資金は8百万円(前年同期は84百万円の増加)となりました。これは主に定期預金の預入による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増加した資金は180百万円(前年同期は40百万円の増加)となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当社グループは、スマートフォンアプリの開発に際して、市場の需要を考慮したシステムの構築に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間の研究開発費合計は3百万円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 11,500,000 |
| 計 | 11,500,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成25年10月10日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 普通株式 | 2,882,500 | 2,882,500 | 東京証券取引所 (マザーズ) | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 2,882,500 | 2,882,500 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

当第2四半期会計期間において発行した新株予約権は、次のとおりであります。

| | |
|--|---|
| 決議年月日 | 平成25年7月17日 |
| 新株予約権の数(個) | 300(注)1 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数 | |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 30,000(注)1 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 1株あたり 371(注)2 |
| 新株予約権の行使期間 | 平成27年7月25日～平成35年7月24日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の 発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 371 資本組入額 186 |
| 新株予約権の行使の条件 | 新株予約権の割り当てを受けたものは、権利行使時において、当社及び子会社の取締役または従業員であることを要する。ただし、定年退職した場合、あるいは取締役会が正当な理由があると認めた場合はこの限りではない。 その他の条件は、当社と新株予約権の割り当てを受ける者との間で締結した「新株予約権付与契約」で定めるところによる。 |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 新株予約権を譲渡するときは、当社取締役会の決議による承認を要するものとする。 |
| 代用払込みに関する事項 | |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | |

(注) 1 . 新株予約権1個につき目的となる株式数は、100株であります。

ただし、新株予約権の割当日後、当社が株式分割、株式併合を行う場合は、次の算式により付与株式数を調整、調整の結果生じる1株未満の端数は、これを切り捨てる。

$$\text{調整後付与株式数} = \text{調整前付与株式数} \times \text{分割・併合の比率}$$

2. 新株予約権の割当日後、当社が株式分割、株式併合を行う場合は、次の算式により払込金額を調整し、調整により生ずる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{1}{\text{分割・併合の比率}}$$

また、新株予約権の割当日後に時価を下回る価額で新株式の発行または自己株式の処分を行う場合は、次の算式により払込金額を調整し、調整により生ずる1円未満の端数は切り上げる。

$$\text{調整後払込金額} = \text{調整前払込金額} \times \frac{\text{既発行株式数} + \frac{\text{新株発行(処分)株式数} \times 1 \text{株当たり払込金額}}{1 \text{株当たり時価}}}{\text{既発行株式数} + \text{新株発行(処分)株式数}}$$

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成25年8月31日 | | 2,882,500 | | 983,800 | | |

(6) 【大株主の状況】

| 氏名又は名称 | 住所 | 平成25年8月31日現在 | |
|---|---|--------------|------------------------------------|
| | | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
| 株式会社アクセル | 東京都台東区台東1-3-1-9 | 477,000 | 16.55 |
| インフォレスト株式会社 | 東京都千代田区麹町3-5 | 400,000 | 13.88 |
| 株式会社メサイアホールディングス | 東京都港区六本木7-1-5-1-4 | 305,000 | 10.58 |
| 川嶋 誠 | 東京都世田谷区 | 115,000 | 3.99 |
| 清水 武志 | 横浜市青葉区 | 100,000 | 3.47 |
| 日本ヒューレット・パカード株式会社 | 東京都江東区大島2-2-1 | 75,000 | 2.60 |
| 日本証券金融株式会社 | 東京都中央区日本橋茅場町1-2-10 | 62,200 | 2.16 |
| CBHK-PHILLIP SEC (HK) LT D-CLIENT MASTER (常任代理人 シティバンク銀行株式会 社) | 10/F TWO HARBOURFRONT 22 TAK FUNG STREET HUNG HOM KOWLOON HONG KONG (東京都品川区東品川2-3-14) | 57,500 | 1.99 |
| 酒井 哲郎 | 千葉県船橋市 | 40,000 | 1.39 |
| カブドットコム証券株式会社 | 東京都千代田区大手町1-3-2 | 38,400 | 1.33 |
| 計 | | 1,670,100 | 57.94 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式38,400株(1.33%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 38,400 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 2,843,900 | 28,439 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 200 | | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 2,882,500 | | |
| 総株主の議決権 | | 28,439 | |

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------|----------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社ファステップス | 東京都新宿区四谷4-32-4 | 38,400 | | 38,400 | 1.33 |
| 計 | | 38,400 | | 38,400 | 1.33 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仁智監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,611,809 | 1,728,174 |
| 受取手形及び売掛金 | 379,643 | 725,731 |
| 商品及び製品 | - | 491 |
| 仕掛品 | 5,180 | 10,142 |
| 繰延税金資産 | 7,453 | 157 |
| その他 | 365,046 | 374,207 |
| 貸倒引当金 | 12,682 | 16,082 |
| 流動資産合計 | 2,356,451 | 2,822,822 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,661 | 7,197 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 40,737 | 34,409 |
| その他 | 54,898 | 54,257 |
| 無形固定資産合計 | 95,635 | 88,666 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 133,937 | 122,403 |
| 長期貸付金 | 353,860 | 353,298 |
| 繰延税金資産 | 28,111 | 14,502 |
| 営業保証金 | 150,300 | 140,300 |
| その他 | 123,719 | 96,346 |
| 貸倒引当金 | 38,011 | 7,450 |
| 投資その他の資産合計 | 751,918 | 719,400 |
| 固定資産合計 | 852,215 | 815,263 |
| 資産合計 | 3,208,666 | 3,638,085 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 289,471 | 523,765 |
| 短期借入金 | *2 650,000 | *2 780,000 |
| 未払法人税等 | 50,312 | 9,489 |
| その他 | 200,296 | 228,149 |
| 流動負債合計 | 1,190,080 | 1,541,404 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 50,000 |
| 退職給付引当金 | 12,823 | 13,846 |
| 役員退職慰労引当金 | 290,687 | 303,150 |
| その他 | 50,227 | 39,031 |
| 固定負債合計 | 353,738 | 406,028 |
| 負債合計 | 1,543,818 | 1,947,433 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 983,800 | 983,800 |
| 資本剰余金 | 774,915 | 774,915 |
| 利益剰余金 | 613,940 | 584,635 |
| 自己株式 | 58,994 | 58,994 |
| 株主資本合計 | 1,085,780 | 1,115,086 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,748 | 3,250 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,748 | 3,250 |
| 新株予約権 | - | 262 |
| 少数株主持分 | 576,319 | 572,053 |
| 純資産合計 | 1,664,848 | 1,690,652 |
| 負債純資産合計 | 3,208,666 | 3,638,085 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 2,920,493 | 2,919,715 |
| 売上原価 | 2,561,130 | 2,592,258 |
| 売上総利益 | 359,362 | 327,457 |
| 販売費及び一般管理費 | ¹ 311,344 | ¹ 327,267 |
| 営業利益 | 48,017 | 189 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 15,047 | 4,441 |
| 受取配当金 | 1,340 | 4,856 |
| その他 | 10,654 | 8,509 |
| 営業外収益合計 | 27,042 | 17,806 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,762 | 3,382 |
| 為替差損 | 6,675 | - |
| その他 | 2,968 | 3,416 |
| 営業外費用合計 | 16,405 | 6,799 |
| 経常利益 | 58,654 | 11,197 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 6,328 |
| 特別利益合計 | - | 6,328 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 58,654 | 17,525 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 23,902 | 15,674 |
| 法人税等調整額 | 3,415 | 16,008 |
| 法人税等合計 | 20,486 | 333 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 38,168 | 17,191 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 13,952 | 12,113 |
| 四半期純利益 | 24,215 | 29,305 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 38,168 | 17,191 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,426 | 10,866 |
| その他の包括利益合計 | 1,426 | 10,866 |
| 四半期包括利益 | 39,594 | 28,058 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 24,700 | 32,323 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 14,893 | 4,265 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 58,654 | 17,525 |
| 減価償却費 | 1,744 | 1,925 |
| のれん償却額 | 6,294 | 6,328 |
| 為替差損益（は益） | 6,692 | 35 |
| 貸倒引当金の増減額（は減少） | 7,567 | 27,161 |
| 賞与引当金の増減額（は減少） | 21,590 | 24,800 |
| 退職給付引当金の増減額（は減少） | 636 | 1,022 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（は減少） | 6,595 | 1,267 |
| 受取利息及び受取配当金 | 16,387 | 9,297 |
| 支払利息 | 6,762 | 3,382 |
| 投資有価証券売却損益（は益） | - | 6,328 |
| 売上債権の増減額（は増加） | 656,767 | 346,088 |
| たな卸資産の増減額（は増加） | 877 | 5,452 |
| 仕入債務の増減額（は減少） | 106,309 | 234,294 |
| その他 | 78,371 | 21,635 |
| 小計 | 387,948 | 82,111 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,400 | 5,132 |
| 利息の支払額 | 6,745 | 3,300 |
| 法人税等の支払額 | 6,518 | 12,967 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 396,811 | 93,246 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | 19,516 | 98,180 |
| 定期預金の払戻による収入 | 87,110 | 60,168 |
| 有形固定資産の取得による支出 | - | 3,325 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 6,000 | 60,210 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 96,658 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 6,000 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 29,551 | 557 |
| その他 | 560 | 4,033 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 84,584 | 8,366 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（は減少） | 40,500 | 130,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 50,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 40,500 | 180,000 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 6 | 35 |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 271,720 | 78,351 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 344,816 | 662,580 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ¹ 73,095 | ¹ 740,932 |

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）

該当事項はありません。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

1 保証債務

下記会社の金融機関からの借入金に対して次の通り保証を行なっております。

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| (株)スターブレン | 40,000千円 | 40,000千円 |
| (株)エクシード | 45,000千円 | 45,000千円 |

2 当座借越契約等

当座借越契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 当座借越極度額 | 350,000千円 | 350,000千円 |
| 借入実行残高 | 250,000千円 | 350,000千円 |
| 差引額 | 100,000千円 | -千円 |

（四半期連結損益計算書関係）

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|--------------|---|---|
| 給与手当 | 76,768千円 | 62,272千円 |
| のれん償却額 | 6,294千円 | 6,294千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 38,640千円 | 44,800千円 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 6,595千円 | 6,845千円 |
| 退職給付費用 | 66千円 | 66千円 |

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|----------------|---|---|
| 現金及び預金 | 857,296千円 | 1,728,174千円 |
| 預入期間が3ヶ月超の定期預金 | 784,200千円 | 987,242千円 |
| 現金及び現金同等物 | 73,095千円 | 740,932千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システムソ リューション 事業 | メディアソ リューション 事業 | コストマネ ジメント 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 208,924 | 2,487,244 | 224,324 | 2,920,493 | | 2,920,493 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | | | | | | |
| 計 | 208,924 | 2,487,244 | 224,324 | 2,920,493 | | 2,920,493 |
| セグメント利益 | 32,957 | 34,301 | 19,791 | 87,050 | 39,032 | 48,017 |

(注) 1. セグメント利益の調整額 39,032千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | システムソ リューション 事業 | メディアソ リューション 事業 | コストマネ ジメント 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 244,622 | 2,130,190 | 544,902 | 2,919,715 | - | 2,919,715 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 244,622 | 2,130,190 | 544,902 | 2,919,715 | - | 2,919,715 |
| セグメント利益又は損失() | 66,998 | 37,646 | 26,308 | 55,661 | 55,471 | 189 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 55,471千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 8円51銭 | 10円30銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 24,215 | 29,305 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 24,215 | 29,305 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,844,100 | 2,844,100 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(注)当社は平成25年1月11日開催の取締役会決議に基づき、平成25年3月1日付で行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

株式会社ファステップス

取締役会 御中

仁 智 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 山 口 一 成 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 來 嶋 真 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ファステップスの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ファステップス及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。